

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第72回 ビジネス文書実務検定試験 (6.6.30)

第1級

速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔書式設定〕

- 1行の文字数を30字に設定すること。
- フォントの種類は明朝体とすること。
- プロポーショナルフォントは使用しないこと。

〔注意事項〕

1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。ただし、網掛けした漢字は同じ読みで間違っているため、正しい漢字に訂正すること。なお、網掛けする必要はない。
3. 長音は必ず長音記号を用いること。
4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

受験番号

第72回 ビジネス文書実務検定試験 (6. 6. 30)

第1級 速度部門問題 (制限時間10分)

企業が人材確保のために、魅力ある職場づくりをすることは重要	30
といえる。その参考となる指標の一つに、従業員満足度 (E S) が	60
ある。これは、給与や役職といった待遇に加え、職場環境や仕事の	90
やりがいなどの要素も含めて調査される。その方法は、アンケート	120
によるものが一般的だ。事前に従業員へ意図を伝えた上で提起的に	150
実施し、改善を繰り返していくことが望ましい。	173
このE Sを高めるため、企業が自社の本質的な課題を乗り越えら	203
れるように、現状に適している施策を打つことが肝要だ。ある会社	233
では、一人ひとりが自分らしく働けるように、従業員が勤務時間を	263
決められる制度を導入した。さらに、兼業の自由化や子連れ出勤の	293
支援なども行っている。その結果、多様で柔軟なワークスタイルが	323
可能になり、低い離職率で水位し続けている。	345
以前の企業では、顧客を最優先にする考え方が一般的であった。	375
ビジネスでは顧客を大切にするのは当然だが、過剰にサービスをす	405
るために、従業員が自分の時間を犠牲にしてまで働くことが増加し	435
た。社内でこのような状態が顕在化するようになると、仕事に対す	465
るモチベーションが下がり、品質や精度の低下へとつながった。そ	495
して、改善のために労働環境を整備する必要が生じた。	521
近年は、従業員が仕事に満足することにより、顧客に対して室の	551
高い接客ができるという考え方が主流だ。そのため、企業は顧客を	581
大切にしながらも、まずはE Sを意識して取り組むことで良い結果	611
を得やすい。企業がイメージアップを図ることができれば、離職率	641
の低下や新規雇用の獲得へとつながり、生産性も向上するだろう。	671
今後より多くの企業で、従業員が満足できる環境が整えられていく	701
ことを願っている。	710